

平成31年度 取組予定

民有林の利用間伐実施に向けた取組 ～積丹地域共同施業団地で効率的な施業の実施を目指す～

石狩森林管理署

【現状】

積丹地域共同施業団地では、平成20年度から効率的な施業の実施に取り組んでおり、これまでの10年間で間伐等森林整備を162ha実施してきている。平成30年度からの協定更新に伴う事業計画の見直しに当たっては、効率的な利用間伐の推進などにより収入増につなげるため、適切な実行管理に取り組むこととした。

【目的】

共同施業団地内で、国有林・民有林の一体的森林整備による効率的な施業を実施し、収益の増加を目指す。

平成30年度までの取組と成果

協定締結により民国連携した18, 610mの路網整備を行ったことにより、これまで実施できなかった間伐などの森林整備を行うことができた。

また、この路網や共同土場を活用することで木材の運搬距離を短縮し、輸送コストを削減することができた。

【令和元年度の取組予定】

1.共同土場（ストックヤード）の整備

共同土場については、積丹町の町有地を選定。共同土場を活用した共同出荷の為、整備を実施。

2.林業専用道等の路網作設箇所の検討

国有林の作業道を修繕することにより路網整備を昨年に続き進める。また、森林整備センター札幌水源林事務所と積丹町が国有林路網の終点を起点とする路網整備を実施する。

3.現地検討会を実施

森林整備協定の内容と次年度の事業発注に向けて関係者及び事業体を含めて、趣旨を説明、意見や助言をいただき、効率的な事業発注に努める目的で開催する。

4.運営会議を実施

次年度の事業発注に向けて、認識を統一することが必要なことから実施

共同土場予定地



運営会議の様子



【今後の取り組みで 目指すところ】

- ・路網整備の実行
- ・間伐事業量の確定
- ・利用間伐の推進
- ・共同出荷の事業確定
- ・共同土場の整備
- ・現地検討会による意見交換

効率的な施業の実施に向けて取り組む

【今後の目標】

国有林・民有林の伐採箇所を一体的施業としてとらえ、事業ロットの拡大による作業コストの縮減、効率的な施業を行うとともに木材の共調出荷による有利販売の効果で利用間伐を拡大する。

令和元年度 取組結果

民有林の利用間伐実施に向けた取組 ～積丹地域共同施業団地で効率的な施業の実施を目指す～

石狩森林管理署

目 標	国国有林・民有林の伐採箇所を一体的施業地としてとらえ、事業ロットの拡大や土場・路網の共有による作業コストの縮減、効率的な施業を行うとともに、木材の共調出荷による有利販売の効果で利用間伐を拡大する。	
令和元年度取組	取組の内容	取組の成果
路網の整備・修繕	積丹町有林の次期伐採予定地までの未整備であった路網(1.3km)を積丹町が開設した。また、国有林の路網を修繕することにより運材等の効率に資するよう路網整備を1km昨年に続き行った。路網共有による協調出荷に向けて路網を整えた。	町有林林道新設と、接続する国有林林道の修繕により町有林の利用間伐を行うための基盤整備ができた。
町有林の森林調査	民有林と国有林を一体的に施業することとしているため、9月に伐採予定地の区画調査及び間伐木調査を実施した(石狩署、積丹町、森林整備センター、後志総合振興局林務課、森林室の職員)。	町有林の森林資源状況、伐採材積が把握できたことで、共同施業の実施に向けた準備ができた。
共同土場(ストックヤード)の整備	民有林と国有林の素材を集積し、事業ロットを拡大し有利販売につなげるため、民国伐採地より国道に比較的近い積丹町有地を選定し、9月26日～10月31日までの間で国有林が共同土場(ストックヤード)を整備した。 	大型トレーラーによる運材が可能となり、木材の共調出荷及び有利販売に向けた準備が整った。
現地検討会における情報共有等	民有林と国有林を一体とした事業展開を計画していることから、10月3日、関係者及び林業事業体を含め45名の参加で実施した。森林整備推進協定と次年度の事業実行の内容を説明、意見交換を行った。 	現地検討会で得た意見・情報を関係者で共有し、一体的事業展開に向けての準備ができた。

目標に対する達成度

今年度の取組みは、一体的事業展開をするにあたり、路網整備、森林資源調査、共同土場作設、現地検討会など準備すべきこととして実施した。

次年度の取組予定

民有林・国有林一体的森林施業の実現のために効率的な事業実施を取り組む
①利用間伐の推進、②共同出荷の実現、③共同土場の利用
④積丹町議会議員への現地説明会、
⑤町民への国有林自然散策会を実施し、森林整備活動を普及啓発
事業実行後、民国一体的な森林整備の成果を発表する